

# 第17回 安全教育講座(in 関西)

CS委員会 森 英生  
(アルバック機工株式会社)

CS委員会主催の安全教育講座が、2016年11月17日(木)株式会社島津製作所関西支社マルチホールにて、第17回安全教育講座in 関西として開催されました。

講演内容テーマは3つ。

## 1) 作業員が遭遇した危険な事例集

「講師：島津エミット株式会社 木田 康夫氏」

## 2) 失敗から学ぶ改善事例集

「講師：アルバック機工株式会社 森 英生」

## 3) 統計で見る年齢と労働災害との関係

「講師：独立行政法人労働安全衛生総合研究所  
三浦 崇氏」

により安全教育講座を実施。

1)の講座では、本CS委員会の会員各社の協力の基に集約した様々な災害事例「ヒヤリハット」を、リスクマネジメントの観点から分析し、挟み込み・転倒・感電・火傷・爆発・化学物質など、危険の種類別に具体的に集約した「作業員が遭遇した危険な事例集」の中から抜粋し、内容の紹介をしました。

受講者からは、事例を基に現実的な再発防止策は社内でも教育に活用していきたい、改めて注意を促す必要を感じた等の声がありました。

2)の講座では、「失敗から学ぶ改善事例集」、企業活動の中で発生した様々な不適合について、これもCS委員会の会員各社との意見交換を基に作成した小冊子から抜粋し、内容の紹介を行いました。受講者より、同業者の失敗事例から学ぶ事が多く、今後の現場やフィールドでの作業にフィードバックして行きたいとの声がありました。

3)の講座では、講演の目的として「災害の減少を推進するためには重点的に取り組むべき対象は何かをはっきり意識することが大切である」、「災害防止への高い意識を持つためには、何より労働災害の現状に正しく向き合うこと」、「現状を把握する方法の一

つが災害分析」、「年齢を軸に興味深い様々な分析結果を提供すること」これらを軸に、年齢ごとの災害件数・災害発生率、災害予測、年齢ごとの経験年数と災害のテーマで報告されました。

受講者からは、調査データとして見る機会が無かった為、非常に興味が有り大変参考になったとの声を頂きました。

今回も3つの講座を開催させて頂きました。

今後も各社皆さまのお役に立てる様、テーマについて最新の情報を分かり易くご提供できる様情報収集して行きたいと思えます。

最後になりますが、安全教育講座にご参加頂いた受講者の皆さま、会場ご提供頂いた株式会社島津製作所様、また本開催に携わって頂いた日本真空工業会事務局関係者並びに各社社会員の皆さまに厚く御礼申し上げご報告とさせていただきます。



集合写真



受講風景

